

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年5月8日 No. 6 文責：佐野紳二

小中一貫教育② 「教育課程を接続する」とは

「教育課程」と聞いて「あっ、あれのことだよ」とすぐにピンと来る方はあまり多くはないのではないかと思います。我々、教職に携わる人間にとっては当然知っていなければならない言葉なのですが、一般の方にはなかなかなじみのない言葉だと思います。教育課程とは、「**学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子どもの心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画**」のことです。簡単に言うと、それぞれの学校にある教育計画をまとめたもので、国語や算数といった教科の学習のほか、学校行事やさまざまな領域（キャリア教育や環境教育、福祉教育、人権教育等々…）の指導計画がすべて記載されています。（当然、結構な量になり、本校の教育課程も昔の電話帳ほどの厚さになっています）そして、その計画をつくるもとになっているのが、前回紹介した「**小学校学習指導要領**」です。

櫛形中学校区には4つの小学校があるので、児童の実態や地域の現状も踏まえて小学校ごとに教育課程があります。学習指導要領に沿って編成されるので、共通する部分はあるのですが、学校ごとに違いがあり、それを4校分（+中学校で5校分）持ち寄ると、見るのが嫌になってしまうくらいの分量になります。

そこで、櫛形中学校区では、予測困難な時代を生き抜いていくための力として、日々の授業の中で着実に身に付けていきたい力のうち、特に重点を置く力を「**対話する力（＝対話力）**」であると考え、すべての教科で「対話する力」をしっかりと身に付けられるようにするためにはどんなことに気をつけて指導すればよいかをまとめ、すべての学年・教科で同じ目的意識をもって指導することができるようにしました。下に掲載したのは、各教科で考える「対話する力」のもとになる、「子どもたちに身に付けさせたい対話力」です。

【小学校低学年】

- ・ 行動したこと、経験したことを基に順序立てて考え、自らの思いや考えを伝える力。
- ・ 相手の話を集中して聞き、話の内容を捉える力。
- ・ 相手の発言を受け、自分の思いや考えとつなぐ力。



【小学校中学年】

- ・ 理由や事例などを挙げながら筋道を立てて考え、自らの思いや考えを伝える力。
- ・ 必要なことを聞き取り、話の中心を捉える力。
- ・ 互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる力。



【小学校高学年】

- ・ 事実と感想、意見を区別し、筋道を立てて考え、自らの思いや考えを伝える力。
- ・ 話し手の目的や自らの意図に応じて、話の内容を捉える力。
- ・ 互いの立場や意図を明確にして、考えをまとめ、広げる力。



【中学校】

- ・ 立場や考えを明確にし、論理的に考え、自らの思いや考えをわかりやすく伝える力。
- ・ 論理の展開に注意して聞き、話を評価して、自分の考えをまとめる力。
- ・ 互いの立場や考えを尊重して話し合い、考えをまとめ、広げ、深める力。

と、ここまで書いてきましたが、(とても大切な話なのですが)話が硬くなり、頭の中が「？」でいっぱいになりそうなので、もっと身近な例を挙げてみることにします。

2011年から、小学校でも「外国語(=英語)」の学習が始まりました。最初は5・6年生で「外国語活動」の学習が行われるようになり、2020年からは3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語」の授業が行われています。それ以前は、英語の学習は中学校1年生がスタートでしたから、中学校の英語の先生は1から子どもたちに教えなければなりません。しかし現在、小学校では4年間、英語の学習をしています。中学校の先生が小学校の「外国語活動・外国語」の学習内容を知らず、従来通りの授業を行ったら、かなりのロスが生じることはお分かりいただけると思います。また、逆に小学校の教師が「中学校の英語の学習はここから始まり、こんな内容を3年間で学ぶんだ」ということが分かっていると、今、自分たちがしなければならないことがより鮮明になってきます。小中学校の教員が相互に学習内容を知ること、より効率的な指導が行えるわけです。



実はこれは英語に限った話ではなく、国語や算数(数学)、社会、理科などでも全く同じことが言えるのです。でも、これまではなかなかそうした情報交換が行われなかったため、特に中学校で小学校の学習した内容をかなり丁寧にもう一度学習するということがあったようです。

いかがでしょうか?何となくでも、「小中学校で教育課程を接続すること」の意味や意義を感じ取っていただければ幸いです。次号では、今回も取り上げた「対話力」について書かせていただく予定です。

優勝おめでとう 春季峡中大会優勝

先週のこの通信でも紹介させていただきましたが、本校の児童を中心とする橿形大和チームが、4月29日に行われた右記大会決勝で、見事に優勝を果たしました。5月2日の朝には、代表の東條さんをはじめ、チームの代表のみなさんが優勝の報告に来てくれました。優勝した橿形大和チームはこの後、全日本学童軟式野球大会・県予選に出場するそうです。

これからも、自分の得意なことを生かして活躍してくれることを期待しています。



クリーン作戦・通学路点検へのご協力、ありがとうございました。期間中、何人もの保護者の方が、子どもと一緒にごみ拾いをしながら学校まで歩いてきてくださいました。

保護者の皆様から寄せられた通学路の危険箇所につきましては、この後、学校で確認をして市へ改善要望を出していく予定です。



☆ 明日と明後日の2日間、峡西CATVで本年度の入学式の様子が放映されます。

放映時間：9時～ 12時～ 18時～ 20時～